サンプラ通信

発行：2026 年 8 月　34 号

シュリンクフィルム袋

シール形状のご紹介

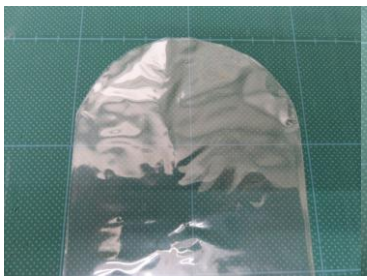
■ シュリンクフィルム袋はチューブフィルムを溶断シール加工して製造いたします。

溶断シール形状は主に R シールと呼ばれる、丸くカーブしたシール形状になります。
シールの形は一種類ではなく何種類もございます。

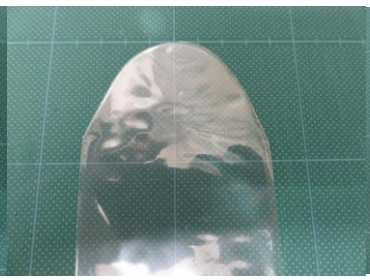
包装物に合わせて「きつい R 型」、「ゆるい R 型」、「直線型」、「ボトムシール型」
を使い分けてご提案させて頂きます。

どのようなシールの形があるか、弊社規格袋を紹介させて頂きます。

B-1(0.02×95×290)
主にボトル容器用



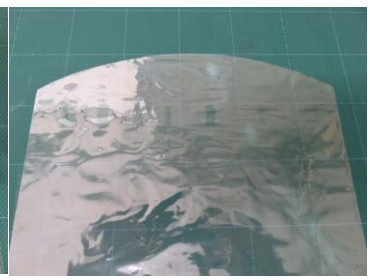
B-4(0.025×70×250)
主に細いボトル容器用



S-1(0.02×170×300)
主に化粧箱用
昔はビデオケース用に
良く使われていました



S-5(0.02×260×330)
主に化粧箱用
S-1 より若干 R 型が
ゆるいです



D-1(0.02×155×240)
DVD トールケース用
直線のシールです



C-1(0.015×140×205)
書籍　新書判用
シール部に「ミミ」
が残るタイプです



このように容器形状用に合わせて
シールの型がいろいろとございます。

弊社では十数種類の型がございます
のでシュリンクするものの形に合うよう
にシールの型を合わせております。

R シール形状選択による仕上りの違い

① ビン容器シュリンク比較

きつい R 型の場合　容器に沿ってきれいに仕上がります



ゆるい R 型の場合　両側に「ツノ」が出てしまいます



② 化粧箱シュリンク比較

きつい R 型の場合　R がきつく箱が入りません シュリンクしても天面にフィルムが余ります



ゆるい R 型の場合　フィルム余りが無く、天面に沿ってきれいに仕上がります



このように包装物によってきれいに仕上がる R 型が変わってきます。
別注生産品の場合は、容器に合わせて R 型を都度設定して作製しております。
新規案件でシュリンク袋を作製する場合には、包装物を送って頂くようご依頼させて頂いておりますが、このようにフィルムサイズや R 型を選定するためにお預かりしております。

プラスチックに+TICを。
サンプラスチック株式会社

←HP ご紹介はこちらから

お問い合わせ先

栃木オフィス
TEL:0287-36-3200
FAX:0287-36-1112